



有限会社エコ・ライス新潟
新潟県長岡市諫川新田町宇前島970-100
TEL: 0258-66-0070 FAX: 0258-66-0447

クイーン倶楽部だより 8月号



- 1 毎朝5時前から始まる枝豆の収穫。実の入りすぎでないものを選び、株ごと引き抜きます。
- 2 引き抜いた枝豆を軽トラに積み込み、作業所へ。
- 3 軽トラいっぱい枝豆をまず奥の機械にかけ、枝から実をもぎます。そのあとは熟練の目で一つ一つ手早く選別。
- 4 選別された枝豆を、手作業で一つずつ袋詰め。

8月は茶豆をお届け!

詳しくは「ふるさと特産品 夏」をご覧ください

枝豆のおいしい季節がやってきた!

毎年ご好評いただいている、笠原さんの朝採り枝豆。太陽をいっぱい浴びて、ぐんぐん生長を続けています。朝採り・直送だからこそその鮮度! うま味! ぜひお試しください!



笑顔が素敵な笠原さんの農場。おいしい枝豆運びのプロです。



Dr中村の お米の話



中村 信也(なかもらのぶや)

医学博士。東京農工大学家畜学部家畜学科教授として勤務をとり、「食と健康」の医療薬学研究の第一人者として活躍中。

新聞を読んでいたら、全国に先駆けてと獲れる宮崎産コシヒカリの卸販売価格が昨年より8%も安いとありました。今年は梅雨時に雨がたふりと降り、夏に気温も上がったので豊作となるでしょう。そして、売渡価格もさがつてゆくと予想できます。

こういう事態は農家にとっては顔をしかめたくなるでしょうが、消費者にとっては、え、ほす顔となります。消費者はスーパーで値段を見て買う人が多いので、安ければ需要を高め、米離れが起きにくくなります。

記事に米とパンの一世帯当り年間購入量の年次推移表がありました。みると米の購入量は年々減少していて、パンは増加しています。つまり、米離れは米食がパン食に移ったためといえます。しかし、この移行は徐々に生じているのではなく、ある年を境に起きているのです。

米の年間購入量は、1994(平成6)年にやや大きく落ち込みましたが、幸いにこの数年は落ち込んでいません。パン購入量は2002(平成14)年に急増し、以後一定です。この減少・急増は米価格で説明できます。コメ価格センターの指標価格は1993(平成5)と2003(平成15)年に急騰しています。米の売渡し価格が製品に敏感に反応し、それが米離れを招き、パン需要を高めています。消費者の米離れは時代の流れの一言で済む問題ではありません。

昨年、エタノール原料問題で、小麦の価格上昇がみられ、小麦製品に購入量の減少がみられました。そのため、米離れに歯止めがかかりました。しかし、リーマンショック世界的不況で小麦の値段が下がりはじめました。米離れが起きると心配されますが、今年は米の値段が下がり、米離れの心配は不要となります。

日本の米の値段は、政府価格と補助・補償金でコストアップになっています。また、人出、農業、肥料を減じる栽培を行えば安い米ができます。これからは世界に輸出できる米を作つてゆかねばなりません。

第44回 米離れは防止できる